

平成 26 年 1 月 31 日
東京ガス株式会社

2014 年 3 月期 第 3 四半期 決算説明会
主な Q & A

- Q 1 : 来期のガス販売量見通しについて、現時点でわかる範囲で解説してほしい。
- A 1 : 今期気温影響により販売量が減少しているため、来期平年並みの気温になると仮定すれば、ガス販売量は増加するだろう。また、発電所の能力増強が見込まれており、発電用ガスは伸びる。景気回復により一般工業用需要も増加すると期待しているが、現時点で定量化はできていない。
- Q 2 : 海外事業について。現時点での全体観を聞きたい。
- A 2 : 稼働中のプロジェクトについては、全体的にはほぼ順調である。
- Q 3 : バーネットについて。前回計画より減益見通しとなった理由は？
- A 3 : 減価償却方法を見直した結果、今期の償却費負担が増加したものである。今期の会計上の利益額は減少するものの、将来のガス産出量見込み等には全く変更はない。
- Q 4 : ガスシステム改革について、現時点でどのように受け止めているか。
- A 4 : 詳細はわからないが、今後厳しい競争環境にさらされるものと覚悟している。燃烧技術をはじめとする当社の技術力、エンジニアリング力は他社に負けないと自負している。小口分野については、ライフバルを活用しつつ、通信技術や IT 技術を駆使して新規参入者に対抗していく所存だ。

以上